

秋田県立大学学長に小林淳一君が！

17年4月1日から6年間

中山正光（11組）

このたび、小林淳一君（11組、塩田中卒）が秋田県立大学の学長兼理事長に内定しました。小林君は大学を卒業後、日立製作所に入社し、本社研究開発本部ソリューションセンター長まで勤めた後、請われて同大学教授として10年前に赴任し、現在同大副学長です。彼が教授の時2回、教授室や単身赴任アパート先などを訪れたことがあります。学生・同僚はもちろん、近隣の住民からもとても慕われており感心しました。今回このような重責に推挙されたのも、彼の血のにじむ努力に加え、誰からも愛される人格を認められたものと思います。

68歳から6年の厳しい仕事で大変かと存じますが、健康に留意して頑張ってください。また、困ったこと相談したいことがありましたら、忌憚なく同期の仲間たちに連絡して欲しいです。蛇足ですが、11組には同じ塩田中卒の小出俊君が長野大学の理事で頑張っています。

以下は、小林君からクラスメイトたちに寄せられたメールです。

「…だいぶ悩みましたが、秋田に来て10年です。大学のこと、秋田のことがある程度分かってきましたので、大学や秋田に貢献することも恩返しかなと思い、お引き受けすることにしました。」

注：秋田県立大学 (https://www.akita-pu.ac.jp/newsitem2.htm?serial_no=1111) は1999年に秋田県によって設置された、工学系、生物・農学系大学です。

【小林淳一君の近影】

